

2学期がスタートしました

2学期がスタートしました。長い2学期、合唱コンクール等の行事や探究学習の充実等、1学期以上に密度の濃い学びの多い学期となることを期待しています。

始業式では、**1年3組 川原由衣さん**、**2年2組 竹藤希明来さん**、**3年2組 坂本みなみさん**が2学期の抱負を語ってくれました。その後、校長からの話をしました。生徒の抱負と校長の話をダイジェストで紹介します。



【1年3組 川原由衣】

本日から2学期が始まります。入学当初は、環境が大きく変わり上手くやっていけるか不安でしたが、総代としてクラスをまとめる事を経験して、「周りをしっかりと見る事で状況を把握する事」や「自分たちを客観的に見て課題を見つける事」が大事であるなど、様々な教訓を得られました。周りの人と意見を共有する事で、新たな視点を知ったり自分の考えを見直す事ができて、以前よりも成長できたと感じます。

体育大会で全力で練習し、響き合い学習会でクラス全員で協力して一つの出し物を作り上げるなど、とても楽しく充実していたと思います。

反省としては特に「時間の使い方」がまだまだだと痛感しました。個人的な場面でも登下校の際、余裕を持てなかったり、自宅で無駄な時間を過ごしてしまうことが多かったと思います。学校でも席替えや話し合いなどで、司会をした時に、時間配分を誤った事で、クラス全体に迷惑をかけてしまったこともありました。今後は、そういう事がないように、

時間を使い切るのではなく少し余裕を持って行動するよう改善に尽力したいと思います。

クラスでは、メリハリの付け方について、呼びかけだけではない解決方法を皆で考えていきたいと思っています。

2学期は、合唱コンクールや駅伝大会など、大きな行事がいくつもあります。自分自身、「時間の使い方」に気をつけながら、2学期でもっと成長できればと思います。クラス全体でも、クラスの課題解決・成長は1人の力ではできない為、周りに協力を求めたり自分も他人に協力をしたりと、学級目標の「仲が良く、一人一人が行動に責任をもつクラス」を目指していきたいです。

【2年2組 竹藤希明来】

1学期を振り返って特に印象に残っているのは、クラス全体が一つの目標に向かって努力する姿勢が見られたことです。体育大会の学年競技では、優勝を目指してチーム全員が何度も反省点と改善点を共有しながら取り組みました。この取り組みを通じて、チーム全体の結束が強まり、優勝は逃しましたが、クラスでは良い結果を出すことができたと感じています。また、学年企画として行われた2分前黙勉の取り組みでは、当初はなかなか定着していなかったけれど、時間が経つにつれ、全員が自主的に取り組むようになり、企画終了後もこの習慣が続いていることは大きな成果だと思います。一方で、発表者が固定化されていたことが課題だったと思います。

2学期は「いつも誰かがやってくれる」という他力本願な姿勢ではなく、自分から進んで行動し、発言することが重要だと思います。自分自身を振り返ると、全ての授業で積極的に発表を行えていなかったと思います。私自身も含め、この課題点は2学期前半までには改善できるように努力したいと思います。

これからは、学校のリーダーが3年生から2年生に移ることに伴い、これまで以上にリーダーとしての意識や行動に責任を持つことが求められます。自分がクラスや学年の中でどう振る舞うか、どのように周りに影響を与えるかを意識して行動しなければいけません。リーダーシップを発揮する場面が増えると思うので、自分ができることをしっかりと考え、実行できるようにしていきたいです。

2学期は、課題を克服しつつ、学年全体がさらに一体感を持って取り組めるよう、リーダーとして自分自身も積極的に行動していきたいと考えています。クラスや学年全体がより良い方向に進んでいけるよう、一人一人が意識して行動していけるような雰囲気作りを心掛けて日々の生活に取り組んでいきたいと思っています。

【3年2組 坂本みなみ】

私が2学期に頑張りたいことは、2つあります。

1つ目は、受験で第一志望校に合格することです。私は、卓球部キャプテンとして、部員を引っ張ってきました。部員と共に、県大会に出場するため、毎日一生懸命練習しました。熊本市中体連の団体戦では、今まで負けていた相手にリベンジを果たし、目標としていた県大会に出場することができました。これは、私の一生の宝物になりました。私が、卓球部で学んだことは、最後まで諦めずに戦うこと、粘り強く戦うこと。一球一球に集中し、大切にすることです。この経験を活かして、部活をしていた放課後や休日の時間を勉強時間に変え、今度は、第一志望校合格という目標を達成できるよう、努力していきたいです。

2つ目は、私たち3年生にとって最後の行事、一つ一つに思いを込めて取り組むことです。2学期には、附中三大行事である、合唱コンクールと、駅伝大会があります。合唱コンクールでは、聴いている人に感動を与えられるような歌声をホール中に響かせ、グランプリ賞が取れるよう、クラス全員で心を一つにして練習を重ねていきたいです。駅伝大会では、1秒でも速くタスキをつなげて優勝したいです。そして、三大行事だけでなく、日常生活でも卒業までの一日一日を大切にして、最高の思い出を作っていきたいと思っています。

【第2学期始業式 校長講話概要】

みなさん、どんな夏休みを過ごしましたか。部活動に頑張った人。自分の目標に向けて学習を頑張った人、夏休みだからこそできる学習や趣味にじっくり取り組んだ人、ひたすらゆっくりした人、それぞれの夏休みがあったと思います。

私はオリンピックにどっぷりとはまりました。全国民から期待されながら結果を出したアスリートもいれば、結果を出せなかったアスリートもいます。結果を出せなかった人でも、次に向けての目標設定をしており、彼らのメンタルの強さはさすがだと思いました。

私たちが、アスリートを応援したくなるのは、オリンピックで結果を出すという「自分の目標を明確に持ち続けて」ぶれずに頑張ってきた真摯な姿に共感するからだろうと思います。メダリストともなると、雲の上の存在で、全てを彼らと同じようにというのは無理かもしれませんが、「自分の目標を明確に持ち続ける」ことは、ぜひ真似したいモノです。

イソップ童話「ウサギとカメ」の話。ウサギは相手のことばかり気にして、相手のレベルにあわせて、自分の力を加減して負けた。カメは、相手は関係なく、最後まで自分の目標に向かって歩き続けて勝つことができた。カメの姿は、アスリートが「自分の目標を明確に持ち続ける」ということに通じるモノだと思っています。

いよいよ2学期が始まります。皆さんには、カメのように、自分の目標や夢を明確に持ち続け、今自分が出来ることに集中してほしいと願っています。他人と自分を比較するのではなく、淡々と自分ができることをやっていく。厳しい言い方をすると、うまくいかない理由を、他人や環境のせいにしなないということでもあります。

「自分の目標を明確に持ち、できることをやっていく。」

昨日より今日、今日より明日、少しずつの行動が自分自身を成長させてくれるはずです。

皆さん一人一人にとって実りある2学期になるよう、お互いに高めあっていきましょう。